

蠟梅 Now

総務省が4月17日に発表した2014年10月1日時点の人口推計によると、外国人を含む総人口は13年に比べ21万5000人少ない1億2708万3000人。4年連続で減少し、08年のピークから約100万人減った。

1947~49年生まれの「団塊の世代」の多くが65歳以上となり、少子高齢化が進んだ。戦後生まれの人口は1億203万4000人で総人口に占める割合が初めて8割を超えた。

労働力の中核となる15~64歳の生産年齢人口は116万人減の7785万人で、総人口に占める割合は61.3%。93年以降低下し続けている。

一方、65歳以上の高齢者（老年人口）は110万2000人増え、3300万人となった。総人口に占める老年人口の割合は26.0%。75歳以上の割合は12.5%に達し、それぞれ過去最高だった。

日本の老年人口の割合は50年以降、一貫して上昇し、2013年に初めて25%を超えた。老年人口の割合は人口4000万人以上の他国と比較しても突出している。

社会保障制度の見直しに加え、少子化の打開のため、働きながら子供を産み育てられる環境整備が急務である。



フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

5月3日、稚内市でエゾヤマザクラが平年より11日早く開花。1月6日に石垣島でヒカンザクラが開花してから、約4カ月で桜前線は最北端の稚内に到達、日本列島を縦断した。

浮世の変遷にかまうことなく季節は移ろい、ごく自然に、新緑が鮮やかに映える時節になった。当法人のシンボルツリー「蠟梅」も、親は、いつものように開花をこともなげに終え、今まさに、結実に向けて精力的な活動に入っている。

実生に成功した蠟梅2世は順調に成長しており、誕生した西神から筆者宅のバルコニーに昨夏引っ越してきた一株は今、落葉して骨格だけの容姿から様変わり。ほんのり淡い緑の若葉をまとい、まさに青春を謳歌しているようである。

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>